

編集室から

例年、一高校野球ファンとして、母校が甲子園の県予選で敗退となったところで、夏の半分は終わったように感じます。CSR推進室に異動して初めてとなる今年の夏は、7月22日でその半分が終わりましたが、残りの夏は、今号で取り上げた、北海道黒松内町での北限のブナ林保全活動と9回目となった富士山清掃活動に励みました。いずれも暑い中、熱中症に配慮しながらの活動となりましたが、参加者は楽しみながらも真剣に取り組んでいました。

北限のブナ林でのボランティア活動は今年初めて実施しま

した。今回下草を刈った敷地で育てられているブナの苗木は、当社の信託商品を通じて寄せられた寄付金などで取得したナショナルトラスト地に移植される予定です。

一方、富士山清掃は当社の社会貢献活動の中で最も長く続いている活動ですが、今年は参加募集してあっという間に定員に達するほど、社内では人気のイベントです。

こうした活動は続けていくことに意義があると思います。1つ1つは地道な活動ですが、日本の生態系維持のため継続的に取り組んでまいりたいと考えています。（副編集長T.I.）

表紙のトラスト地紹介

富士山高原トラスト(山梨県)

「富士山高原トラスト」は、山梨県富士河口湖町にある原野で、初夏には若草の緑、秋には一面のススキ原と、四季折々の美しい富士の山容が堪能できるトラスト地です。

富士山麓の一帯は、高度経済成長期には、将来的な値上がりをうたい土地を切り売りする原野商法の対象とされました。また、その美しい眺望や都心からの良好なアクセスゆえに、次々と別荘地の開発が進み、多くの貴重な自然が失われた経緯があります。

現在、富士山麓の土地の多くは国有林ですが、トラスト地のある山梨県側の一部は私有地となっており、開発の危険が高いエリアとなっています。本トラスト地も、富士箱根伊豆国立公園に指定されていますが、「普通地区」という規制の緩い地域のため、土地所有者による開発は自由です。世界遺産登録に向けた動きが活発化する中で、再び開発圧力が高まりつつあることから、「日本ナショナル・トラスト協会」は、日本の象徴ともいえるべき富士の歴史と文化、そして本来の自然を後世へ伝えていく場所として永久に保全するため、2007年にこの土地を取得しました。



雲の合間にのぞく富士山



**食卓からエコ！
かんたんエコレシピ**

カブの葉やむいた皮、捨ててしまいませんか？ カブは部位ごとにいろいろな栄養を含み、丸ごと食べられる万能食材。部位の特徴を活かした簡単エコおかずを一品プラスしましょう。

カブのわさびマヨネーズ和え

ポイント

『カブの葉・皮もまるごと調理』
カブの根はもちろん、葉にはβ-カロテン、ビタミンCなど、沢山の栄養が含まれます。蒸し煮にすることで栄養や旨みを逃がさず、生ゴミも出ないので一石二鳥です。



調理時間の目安 10分

材料(2人分)

カブ……………2個

カブの葉……………適量

油揚げ……………1/3枚

A

マヨネーズ ……大さじ1

わさび……………小さじ1/2

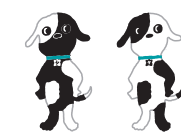
醤油……………少々

作り方

1.カブは2～3mmにスライスし、塩少々をふってしんなりしたら軽く水気を絞ります。

2.カブの葉は2～3cmに切り、少量の水で蒸し煮にします。油揚げはフライパンに中火で両面焼き、短冊切りにします。

3.**A**を混ぜて1、2を和えて盛り付けます。



シンジル & タクセル

三井住友信託銀行の
キャラクター
シンジル&タクセル

With You活動のより詳しい情報は、
WEBサイトでも紹介しています。
<http://www.smtb.jp/csr/withyou/>

With You支店ブログ
<http://branchblog.smtb.jp/>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザ
インの文字を採用しています。



三井住友信託銀行は
ピンクリボン運動を応援しています。

With You

2012年社会貢献活動レポート vol.2

● Special Topic
救える命を守りたい ― ピンクリボンフェスティバル ―

● わがまちの自慢 vol.2
日帰りで海外!? 日本のハワイ 鳥取支店

● 支店活動紹介
静岡・静岡中央・甲府・沼津支店 札幌・札幌中央支店
前橋支店 日本橋営業部

● トラスト地紹介
富士山高原トラスト(山梨)



三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

救える命を守りたい ―ピンクリボンフェスティバル―

三井住友信託銀行は、お客様を「健康」という面からも応援したい、という思いでピンクリボン運動に協力しています。毎年10月に行われる乳がん検診の啓発イベント「ピンクリボンフェスティバル」について、主催団体である公益財団法人日本対がん協会の岸田浩美様にお話を伺いました。

日本女性の16人に1人は乳がん

生涯に乳がんを患う日本女性は16人に1人と言われ、年間約5万人が新たにかかっています。乳がんは早期発見で90%以上が治るとも言われる、治癒率の高い病気です。しかし日本では検診の受診率がまだ低く、命を落とす人も少なくありません。救える命を守りたい、乳がん検診の大切さを広め、早期発見・早期治療につなげたい。そんな思いで、ピンクリボン運動を展開しています。

10年目を迎える ピンクリボンフェスティバル

毎年10月に現在、東京、名古屋、神戸、仙台の4都市で、ピンクリボンフェスティバルを開催しています。今年で東京では10年目を迎えますが、ウォークイベントやシンポジウムの開催で、ピンクリボン運動の認知度は徐々に上がってきていると思います。

(公財)日本対がん協会
ピンクリボンフェスティバル担当
岸田 浩美 様

ピンクリボンフェスティバルは、企業のサポートによって成り立っています。三井住友信託銀行さんには2005年からシンポジウムへのご協賛のほか、スマイルウオークや啓発活動に参加いただくなど、運動を強力に支援いただいています*1。

震災を乗り越えて 仙台でのスマイルウオーク

スマイルウオークはピンクのバンダナなどを身につけた参加者が街を歩き、乳がん検診の大切さを伝えるイベントで、全国で約1万5千人が参加しています。乳がん患者や罹患経験者の交流の場にもなっており、遠方からの参加や、年1回の再会を励みにしておられる方も多いと聞きます。男性の参加も意外と多いので、性別・年齢を問わず、多くの方にご参加いただければと思います。

2011年は震災の影響で、仙台のスマイルウオークは中止が検討されましたが、「こんな時こそ是非開催して欲しい」との強い希望が寄せられ、安全対策をとりながらなんとか開催にこぎつけました。

まずは一度、受診してみよう

私自身、初めて乳がん検診を受ける前は不安を感じました。しかし、検診を受けることで大きな安心感を得ることができました。スマイルウオークの会場によっては事前申し込みによる乳がん検診を実施したり、乳がん検診情報を提供しています*2。40歳以上の方は検診をぜひ受診してみてください。今後もピンクリボンフェスティバルを通じて、乳がん検診の大切さを伝えていきたいと思っています。

*1 2005年～2010年までは旧住友信託銀行、2011年は、旧住友信託銀行、旧中央三井信託銀行にて協賛。

*2 一部イベントへのご参加には事前申込みが必要です。詳しくは、ピンクリボンフェスティバル2012の公式サイトをご覧ください。

<http://www.pinkribbonfestival.jp/>



昨年度のスマイルウオークin仙台には、社員と家族を中心に約65名が参加しました。

わがまちの自慢 vol.2

日帰りで海外!? 日本のハワイ 鳥取支店

山陰地方で唯一の信託銀行、三井住友信託銀行鳥取支店。当店はJR鳥取駅南より徒歩3分、駅前の主要通りのひとつ「太平洋線通り」の入口に面しています。私たちの鳥取県は、人口が少ない小さな県ですが、実はかつて総務省の「ボランティア好きランキング」で日本一に輝いた、まごころとバイタリティあふれる県なのです。

山陰八景のひとつ、日本海に程近い東郷湖は、湖底から温泉が湧き出る全国的に珍しい湖で、湖畔は風情ある温泉地になっています。その中にあるのが「羽合

(はわい)温泉」。日本のハワイとして過去にTVCMで有名になりましたが、今では湯梨浜町の一部として地名が残っています。その名の通り、街にはシュロの並木やハワイ海水浴場、そして夏のハワイアンフェスティバルでは全国各地のフラダンスチームが南国ムードを盛り上げます。

秋には紅葉も楽しめるのが、日本のハワイならではの風情ですね。皆さまも、この秋は湖畔の「はわい温泉」でゆったりと、山陰の味覚を味わってみてはいかがでしょうか。



鳥取支店
(左から) 田中 喜代、岸本 綾、井上 雅代

はわい温泉へのアクセス

JR倉吉駅下車、バス(橋津方面行き)15分

支店活動紹介

環境・生きもの応援活動

静岡・静岡中央・甲府・沼津支店

小さな力が生み出す大きな変化 ～毎年恒例の富士山清掃～



富士山近県の4支店では今年8月、富士山の清掃活動を行いました。今年で9回目の恒例行事ですが、今回も全国の各支店・本部から、過去最多の150人が集まりました。

富士山は、国内外から年間300万人もの観光客が訪れる、世界有数の観光スポットですが、ゴミの多さでも有名です。世界遺産登録に向けた長年の運動にも関わらず実現していない理由のひとつ

に、観光客や不法投棄による深刻なゴミ問題があります。

当日は3グループに分かれて約1時間半、涸沢(かれさわ)の清掃を行いました。延々と続くゴミの景色に仰天。引率していただいたNPO富士山クラブの方によると、最近は多くの人の清掃活動により、以前に比べればゴミの量が減ってきたとのこと。一人一人の力はわずかでも、清掃活動の成果は着実に表れているのですね。

いつの日か、ゴミひとつない綺麗な富士山になる日を夢見て。私たちはこれからも、地道な清掃活動が続けていきます。



静岡中央支店
池田 由美

サクセスフル・エイジング支援

前橋支店

老いを楽しむ秘訣とは? ～「元気百歳になる方法」セミナーを開催～



前橋支店では今年7月、国際長寿センターの志藤洋子氏を講師にお招きして『元気百歳になる方法』セミナーを開催、18名の参加者とともに、老後に充実した人生を送るコツを学びました。

過去100年で平均寿命が約40年も延び、世界的に見ても長生きの人が多く日本において、いきいきと幸せに長生きするためには何が重要なのでしょう?何よりの基本は健康を保つこと。食事や運動、睡眠への配慮はもちろん、病気をやみくもに恐れ

ず、正しい情報から理解を深めることも大切です。また、他人や社会との関わりを持ち続けることも重要です。そして、これからの生き方や病気への対処を、自分の意思で選択していくことが、自尊心のある、自分らしい生き方につながります。

暮らしの質を保ちながら、幸せに長生きすることは、お客さまはもちろん私たちにとっても大きなテーマです。これからも、お客様の幸せな暮らしをお手伝いできるような活動を行っていききたいと思います。



前橋支店
田中 裕己

環境・生きもの応援活動

札幌・札幌中央支店

日本最北端のブナを守る ～北限のブナ林の下草刈り～



「北限のブナ林」をご存知でしょうか?北海道の南西に位置する黒松内町は、温帯植物のブナが自生する国内北限の地で、その価値や美しさから天然記念物に指定されています。札幌支店・札幌中央支店の社員35名は今年7月、(公財)日本生態系協会、黒松内町役場の協力をいただき、黒松内町の「北限のブナ林」の保全活動を行いました。

ブナは水を蓄えて保水効果を

持つことから「緑のダム」と呼ばれ、日本人の暮らしを守ってきました。しかし近年の開発などで、日本各地でブナ林が消滅しています。北限のブナ林は、人々の手で大切に守られてきた貴重な原生林です。今回の作業では、数年前に植樹したブナの苗木の成長促進のため、苗木の周りの下草刈りをしました。

ブナの花言葉は“勇氣”、樹木は“繁栄”をあらわし、東日本大震災からの復興を目指す日本にとって象徴的な樹木です。今後も両支店力を合わせ、地域

札幌中央支店
松本 龍一郎

地域・社会サポート

日本橋営業部

100年を越える歴史を磨く ～日本橋の橋洗いに参加～



昨年架橋100周年を迎えた東京都の日本橋では、毎年7月に橋を美しく保つための「橋洗い」が行われています。1968年から続くこの催しは、日本橋地区の夏の風物詩となっています。

今年は地域にお住まいの皆さまや近隣の企業の方約1,600人以上が参加。私たち日本橋営業部からも、社員とその家族21名がはっ

ぴを着て橋洗いに加わりました。当日は、主催団体の「名橋『日本橋』保存会」による開会挨拶のあと、日本橋川の浄化のため、

EMだんご(有用微生物のヘドロ浄化だんご)を川に投入。そして、消防団が散水した橋を皆でたわしやデッキブラシでごしごしと磨きました。橋の中央に埋められた銘盤「日本国道路元標」は、江戸時代に定められた五街道の起点であり、現在は国道の距離の計測起点にもなっています。こちら

も綺麗に洗い上げ、1年分の汚れを落としました。



日本橋営業部
河西 諒